

港区を歩く②④ 麻布台・東麻布

今回は、麻布台・東麻布を歩きました。
概ね台地の上が麻布台、麻布狸穴町、麻布永坂町、台地の下が東麻布になります。

この地区でも、他の多くの地区と同じように台地の上と下とのコントラストが見られます。

まずは、台地上を東から西へ歩きました。



A ロシア大使館横の道の奥にある日本経緯度原点。右の黒いまるの中心が原点。



B Aの周辺。かつては国土交通省狸穴分室があったが、現在はこんな感じになっていた。



C 台地の上を走る外苑東通り。左手のビルは麻布郵便局等が入る日本郵政グループ飯倉ビル。



D C近くのビルの間から南を見る。相当の高低差がある。向こうの緑は麻布永坂町の高級住宅地。

港区を歩く②④ 麻布台・東麻布

飯倉片町交差点近くの路地奥には、有名な通称スペイン村があります。1930年代に賃貸式集合住宅として5棟建築されたそうです。今も現役の住宅ですが、いつまでも残ってほしいものです。

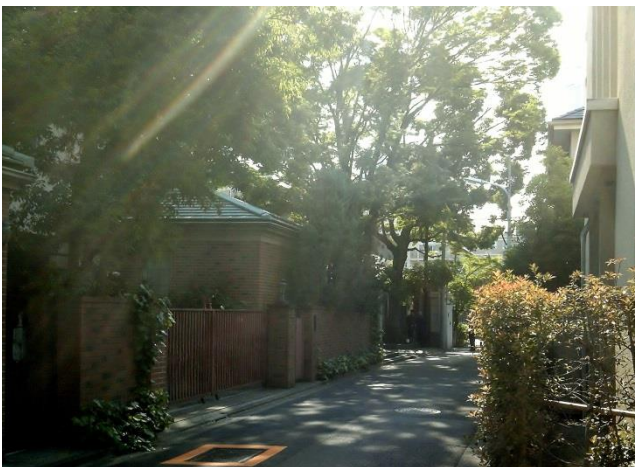
麻布永坂町は豪邸街といっていでしょう。戸建住宅を中心に構成されているので非常に高級感がありました。この地区は、高速道路を挟んで西側の東洋英和女学院周辺と雰囲気似ています。



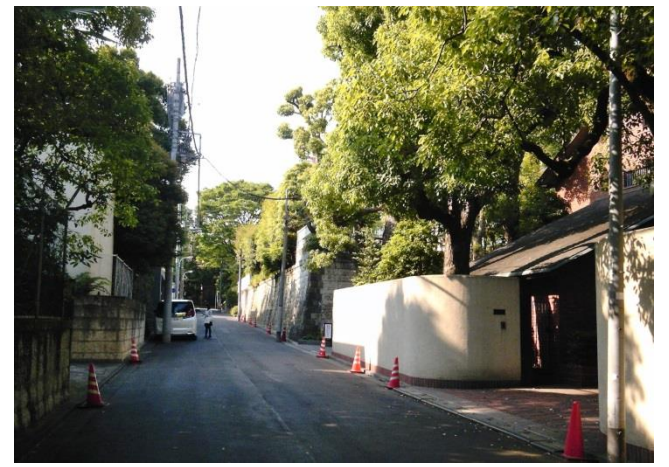
E イタリアンレストラン「キャンティ」の奥にある和朗フラット、通称スペイン村。



F スペイン村の別の建築。



G 麻布永坂町の豪邸街。



H 高級住宅地が多い港区でも、これだけのエリアはなかなか見られない。

港区を歩く②④ 麻布台・東麻布

狸穴坂を下ると東麻布。庶民的な町でした。

隣接する麻布十番や三田ほど再開発が進んでいないので、昭和の香りがします。

街路構成は行き止まりがほとんどないグリッド状で、幅員も広いので、全体に明るい感じがしました。

撮影日：2015年5月26日



I 狸穴坂(まみあな)。マンションが建って明るい感じになった。



J 狸穴坂近くの昔ながらの商店。



K 東麻布の典型的景観。正面は六本木ヒルズ。



L 東麻布の商店街。